

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 5486

課題名 : ファインチューニングした tsuzumi 2 による退院サマリ自動生成の開発と評価

1. 研究の対象

令和 6 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日に、防衛医科大学校病院（全診療科）を退院した患者 300 例

2. 研究期間

令和 8 年 9 月 1 日（研究実施許可日） ～ 令和 12 年 3 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日は以下の通りです。
利用開始予定日 : 令和 8 年 9 月 1 日

4. 研究目的

「退院サマリ」とは、入院中の経過や治療の内容を退院時に医師がまとめる書類で、退院後に他の病院や診療所で治療を引き継ぐ際などに欠かせない大切な記録です。しかし、その作成には多くの時間がかかり、医師の大きな負担となっています。医師の働き方改革が進められる中で、こうした書類作成の負担を減らす工夫が求められています。

近年、文章を自動で作成できる人工知能（AI）の技術が急速に発展し、医療の分野でも活用が期待されています。本研究で用いる「tsuzumi2（つづみツー）」は、NTT が開発した日本語の AI で、医療に関する知識を備えています。本研究では、防衛医科大学校病院の電子カルテの記録を用いてこの AI に追加の学習（ファインチューニング）を行い、退院サマリの下書きを自動で作成するシステムを開発します。そのうえで、AI が作成したサマリの内容が正確で分かりやすいかどうかを、医師が段階的に採点する方法と、コンピュータによる客観的な指標の両方で評価します。この研究により、医師が書類作成にかかる時間を減らし、患者さんの診療により多くの時間を充てられるようになることを目指しています。

5. 研究方法

防衛医科大学校病院を退院された患者さんの電子カルテの記録（入院中の経過記録・検査結果等と、医師が作成した退院サマリ）300 件を用います。まず、この記録の一部を、病院内に設置したコンピュータ上で動作する日本語 AI「tsuzumi2」（NTT 開発）に追加で学習させ、入院中の記録から退院サマリの下書きを自動的に作成できるようにします。次に、AI が作成したサマリを、実際に医師が作成した退院サマリを正解の基準として比較します。評価は、3 名の医師が AI の作成したサマリの正確さや分かりやすさを 5 段階で採点する方法のほか、文章の類似度を測るコンピュータによる客観的な指標も用いて行います。

このAIは病院内のコンピュータだけで動作するため、診療情報がインターネットなど病院の外に送信されることは一切ありません。なお、この研究では診察や検査などの医療行為を新たに行うことは一切ありません。また、氏名・住所など個人が特定されるような情報は研究に使用しません。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：退院サマリ、性別、病歴、治療歴、血液検査・画像レポート等
氏名、住所など患者さん個人が特定されるような情報は研究に使用しません。

7. 外部への試料・情報の提供

該当ありません。

8. 研究組織

本校単独研究

9. 研究に関する情報公開の方法

研究結果を発表する際には、患者さん個人が特定できないよう個人情報を加工して公表いたします。

10. 研究費・利益相反（企業等との利害関係）について

講座研究費を使用し、利益相反は該当ありません。

11. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ご了承いただけない場合、得られた情報は全て破棄します。ただし、ご了承いただけない旨の意思表示があった時点で既に研究成果が公表されていた場合など、データから除けない場合もあります。研究への利用を拒否することを決められた場合、下記の連絡先までお申出ください。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：防衛医科大学校病院救急部 岡本 潤

住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

連絡先：04-2995-1511（内線 5420）電話対応時間 9時から 16時

m04013jo@ndmc.ac.jp

当院の研究責任者：防衛医科大学校病院救急部 岡本 潤